

● 新指定答申文化財の概要

【種別】有形文化財 工芸品

【名称】
┌ 太刀
└ 剣

銘 勢州桑名藤原朝臣村正作 天文二十二年九月 二口
(たち・けん めい せいしゅうくわなふじわらのあそんむらまささく
てんぶんにじゅうにねんくがつ)

【所在地】桑名市京町37-1 桑名市博物館(寄託)

神館神社所蔵

【年代】室町・戦国時代(1553年)

【規模】①刃長60.5cm ②刃長39.1cm

【概要】

室町・戦国時代に刀匠村正が制作した太刀と剣です。いずれの佩表鎧地にも「神立」の彫があります。当資料を所蔵する神館神社は、伊勢神宮神戸に関する神館(かんだち)があったことに由来するとされており、地元では「こうだて」と訓じられています。

この太刀は、桑名神社・中臣神社が所蔵する奉納太刀に引き続く村正の作刀例として、室町時代の伊勢国(三重県)における工芸技術の継続性を示すものであり、さらには太刀と剣という別種の武器が同時に制作・奉納されたという点で文化史的意味からも価値が高いものです。



左：太刀 右：剣